

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [安城市立安城中部小学校] 担当教諭名 [杉浦 未樹] (6年3組 35名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Ying-Qiao Elementary School] 担当教諭名 [Yen-Chun Lin]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|-----------|--------------------------------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 総合的な学習の時間 | Many Lands One World ～つながろう世界の友達～ | 70 |
| | 国語 | 防災ポスターを作ろう 世界に向けて意見文を書こう | 14 |
| | 図画工作 | 協働制作壁画をえがこう | 10 |

■作品に込めた想いについて教えてください。

| | |
|--|--|
| 題 (テーマ) | Save water, Save Life, Save the World with Our Love ～水を守り 命を守り 私たちの愛で地球を守ろう～ |
| メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ) | 「みんなが何か行動を起こせば、大きな変化が生まれる」と私たちは信じています。 地球上の生命を守り、クリーンで持続可能な未来をつくるために、力を合わせよう。 |



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 異文化を知り、理解しようという意欲が高まった。 外国の友達と一緒に勉強したり、ゲームをしたりする楽しさを児童が知ることができた。 SDGsを自分たちの問題だと捉え、できることからやっという意識をもつことができるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> オンライン会議では意見を交換するというより、意見をお互いに発表する場になってしまった。 見通しをもって取り組むことができず、オンライン会議や壁画制作など、時間がない中で行うことが多くあった。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 様々な問題に対して、日本だけでなく、世界の仲間と一緒に解決していこうという意識になった。 テレビの番組で台湾の特集があると、知った台湾のことを紹介していたり、ネットニュースに台湾の話題があるとさらに詳しく調べたりしていた。 世界に目を向ける児童が増えた。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の英語力のなさを痛感した。児童に教える教師という立場であるからこそ、自分自身をもっと勉強していかなければならないと感じた。 台湾の学校の先生方はICTを十分に活用してオンライン会議を行っていた。台湾の先生方と同じようにICTを活用して取り組めるようになりたいと思った。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|--------------------|---------------------|--|---|--------------|
| 出会い 自己紹介 | 4月 ～ 6月 | ・市役所SDGs課職員によるSDGsについての講演・SDGsについての学習 ・自己紹介資料作成 ・オンライン自己紹介 | SDGsとは何か知った。また、海外の友達と仲良くなるために、イラストを用いた自己紹介カードを作り、英語で必死に伝えようとする姿が見られた。 | 総合12 |
| 共有 テーマ学習 | 5月 ～ 7月 9月 | ・台湾についての調べ学習 ・ONLY中部のSDGs(主に三河湾の環境・水産資源についての学習) ・フォーラムを使った交流 | 調べ学習を進めるうちに、同じ島国である台湾と共通する問題もあることを知った。また、自分たちの住む愛知県の問題についても知った。 | 総合20 |
| 融合 メッセージ作成 | 10月 11月 | ・テーマごとのグループによる調べ学習→相手校への情報提供(フォーラム) ・オンライン会議による意見交換 ・フォーラムを使った交流 | 台湾の友達の発表を聞き、「スポンジ都市計画」を知り、世界のSDGsに対する取り組みに興味をもった。日本の取り組みについても台湾の友達に紹介した。 | 総合12 国語14 |
| 創造 壁画制作 | 11月 ～ 1月 | ・壁画デザインについての意見交換 ・台湾の友達へのプレゼント作り ・日本側壁画制作→郵送 ・台湾側制作への応援メッセージ | 台湾の友達と何度も壁画のスケッチを交流する中で、それぞれの良さを取り入れながら、想いのこもった壁画を全員で描いた。 | 総合10 図工10 |
| 評価 振り返り 自己評価 | 2月 3月 | ・校内学習発表会 ・壁画鑑賞会 ・オンライン会議による壁画作りの感想交流 ・卒業式での壁画披露 | 学習発表会では、この1年間学んできたことを保護者や5年生に堂々と伝えた。また、壁画作りの感想を伝え合い、台湾の友達とつながりがもてた喜びを感じた。 | 総合16 |

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

| 学習目標・つきたい力 | 評価 | 教師がそう感じた場面と理由 |
|---------------------------------|----|---|
| 異文化・自文化を理解する力 | 5 | 台湾調べを行う際、食文化・観光地など様々な方面から子どもたちは意欲的に調べ、まとめていた。また授業だけでなく、家庭でも台湾のことを調べてくる児童が多くいた。 |
| 批判的に思考する力 (客観的・論理的視点) | 2 | 台湾の発表を聞くときも、自分たちの意見を話すときも、批判的に思考することは難しかった。意見や調査の結果を聞いて、受け入れるばかりであったと考える。 |
| 主体的に考え行動する力 | 4 | 壁画制作やオンライン会議に向けた準備を児童は、自分たちのグループで協力し、進んで取り組むことができた。また、各グループでも役割を分担し、取り組むことができた。 |
| 多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働) | 4 | 対話に関しては、英語力が身についておらずできなかったと感じる。しかし、一緒にSDGsについて勉強することや壁画の制作では、台湾の子たちの想いを一生懸命に受け取り、取り組んでいた。 |
| 想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作) | 4 | 自分たちのデザインを台湾の子どもたちに送り、また、台湾の子が考えたデザインの良さを取り入れ、一緒に作ったという達成感を児童がもつことができたが、話し合う時間が十分に確保できなかった。 |